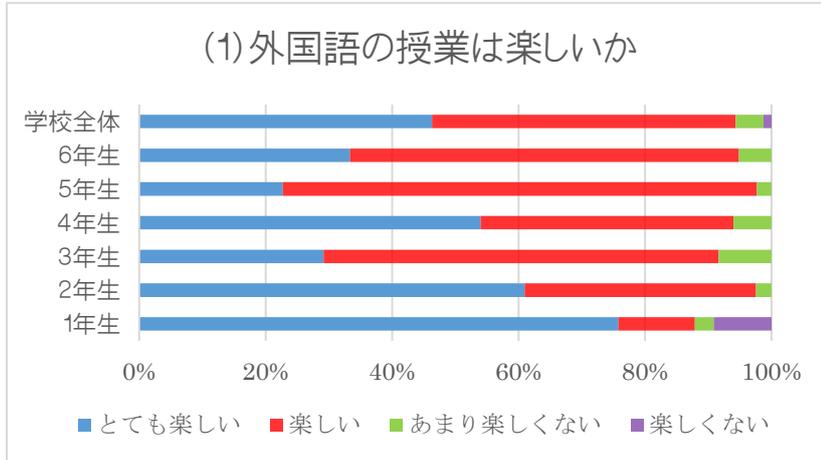


# 外国語科に関する調査結果(R4年度)

天草市立牛深小学校

【児童へのアンケート結果より】

(1) 外国語科の授業は楽しいですか。

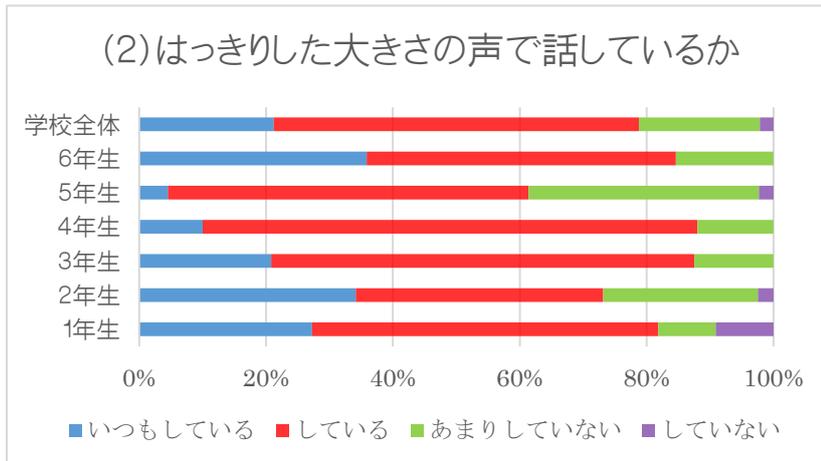


【考察】

昨年度と比べると外国語の授業が楽しいと感じている児童が全体的に増えている。(特に中・高学年)

1年生の「楽しくない」と答えている児童に関しては、学級の人数が34人と多く、十分に発表できていないということで、『表現の場』の工夫について課題があるようだ。

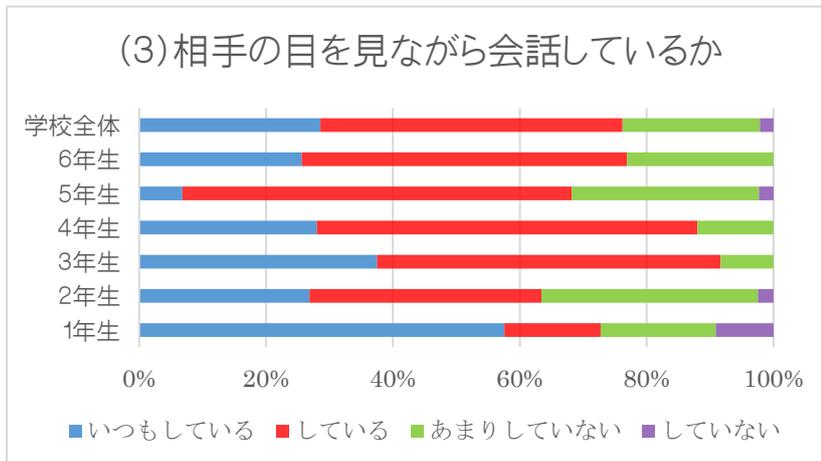
(2) 相手に伝わりやすいようにはっきりした大きさの声で話すことを心がけていますか。



【考察】

「意識している」と答えた児童は学年間で差があるようだ。コロナ禍の影響で、マスク着用が当たり前になり、口形が分かりづらく、発音の仕方が難しいことも原因であると考え。来年度は、マスク着用も緩和することが予想されるため、口元をしっかり見せて口形指導にも力を入れていきたい。

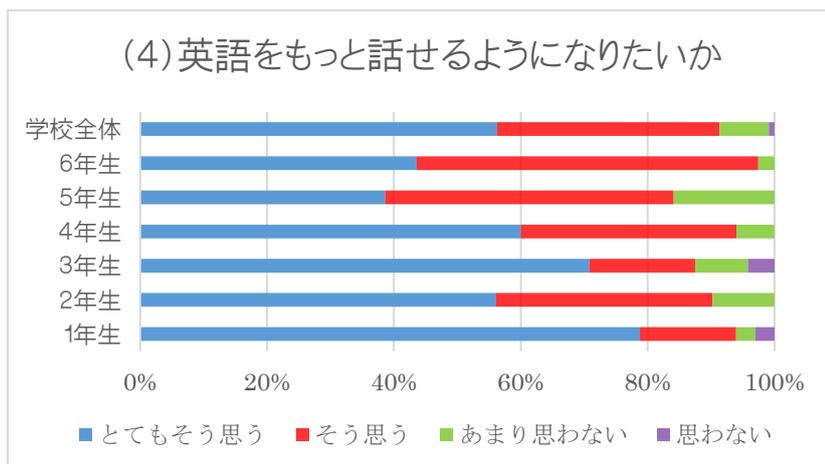
(3) 相手の目を見ながら会話をすることを心がけていますか。



【考察】

中学年の児童は、80%以上が「意識している」と答えている。しかし、昨年度と同様に、学校全体としては、やや意識が低くなってきている。授業の最初に意識する観点を確認することを徹底して取り組むとともに、他の教科でも意識していきたい。

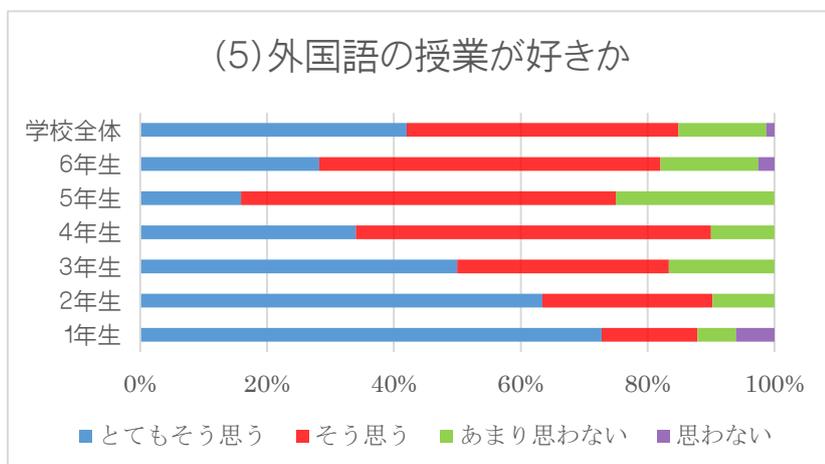
(4) もっと英語がはなせるようになりたいですか。



【考察】

全体的に「もっと話せるようになりたい」と答えている児童は昨年度と変わらないが、「思わない」と答えている児童が減っている。少しずつ英語で話すことへの抵抗がなくなってきたのではないかと考える。

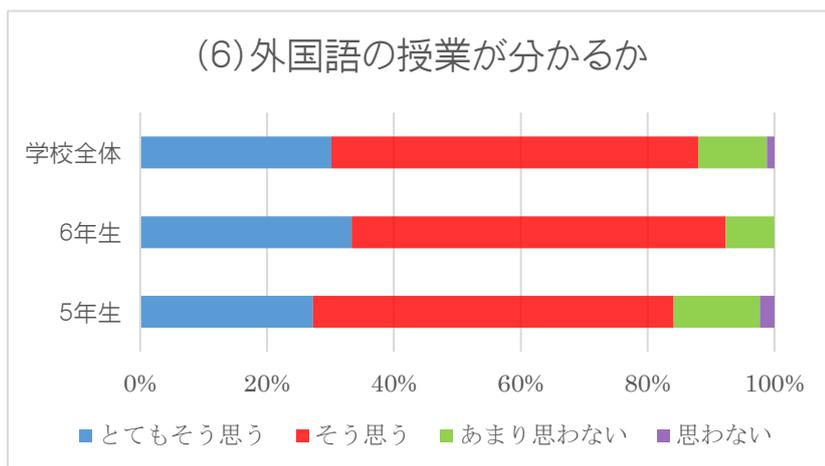
(5) 外国語の授業は好きですか。



【考察】

全体的に昨年度と変わらない数値だが、5年生の「とてもそう思う」「そう思う」と答えている児童が減っている。教科書の内容も難しくなり、苦手意識を感じている児童がいるようだ。児童の意欲が高まるような単元の構想を行っていくことが今後の課題である。

(6) 外国語の授業は分かりますか。



【考察】

5、6年どちらの学年も「分かる」児童が80%を超えている。また、「分からない」と答えている児童も昨年度と比べて減っていることから、「楽しく・分かる」授業を意識して取り組んできた成果が表れている。

【学校関係者等の感想】

- ・ 校内に、英語に興味を持てるような掲示物が充実しており、児童の意欲が高まるような工夫がされてある。
- ・ 小学校では授業の流れを統一しているが、中学校ではどうしているのかなど、小中で連携して、学び方のギャップがないように取り組んでいきたい。